

名古屋キリスト教社会館

後援会だより

第 33 号

発行日；2022年1月1日

発行人；岡村 恒義 編集人；谷川 修

〒457-0805 名古屋市南区三吉町 6-17

新春のお慶びを申し上げます

2年続くコロナ禍の下の新年となりました。新たなオミクロン株感染者が日本各地で出てきており、引き続きの警戒が呼びかけられています。マスク着用、手指のこまめな消毒、密を避ける、ソーシャルディスタンスが、生活様式として すっかり定着したのは良いのですが、人と人の親密さが失われてきていることが危惧されます。それでも、年も改まったことで何か良い方向へと向かうことを期待するのは、万民共通の願いかと思えます。昨年度も後援会からの様々な協力依頼に応じて下さり、誠にありがとうございました。

「発達センターちよだ」と「発達センターあつた」をミニ地域療育センター化へと発展させる事業計画



明確化した時には、社会館の応援団たる後援会としては、この改築に向けた資金確保を全面的に支援し、募金をすすめなければと決意も新たにしております。微力ながら、その課題に向かう一年としたいと思います。またその時は、皆様のご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。それとともに、会員の皆様にとっての楽しい後援会にしていきたいと思います。

会長 岡村 恒義

のびやかな歌声、力強いピアノ伴奏

やっぱりライブは良い、そして何よりタテタカコさんの歌とピアノ演奏の

素晴らしさ そんなことを再確認した タテタカココンサート

2月13日後援会主催でタテタカコさんのコンサートを2年ぶりに実施することができました。寒気が流れ込み、窓ガラスが震えるほどの強風と寒さの中でしたが、会場となった菜の花保育園3階ホールは、タテさんの歌声と演奏で気持ちがポカポカ温まる、そんなコンサートでした。

最後に、心待ちにしていたコンサートのお礼にと、法人の障がい者グループホームで暮らす仲間たちから、タテさんにプレゼントをお渡ししました。コロナ過の中ではありますが、後援会としては 今後とも社会館を応援して下さる方々と心温まる企画をお届けできるように活動を進めていきたいと思えます。これからも応援よろしくお願いします。



発達センターあつた 所長 安藤 典明(後援会担当)

※ 裏面にコンサートの感想を掲載

コロナ苦学生支援の報告とお知らせ

今期、継続して呼びかけさせてもらっています、「コロナ苦学生支援」ですが、前号の呼びかけに対して、7万円の献金が寄せられました。(11/1~12/15)

保育園に配布されたカップ麺とともに、支援活動の代表を務める上山様にお渡ししました。12月の支援活動は、19日(日)でした。

今回、義援金をお寄せ頂きました方は、古澤佐典、上田英二・厚子、岩月彰枝、末永和也、森 和美、近藤眞由美、那須田宏磯部 徹、水野フミ、恒川 修、加藤峯子 谷川 修 (敬称 略、順不同)

コロナ第6波がじわじわと押し寄せてきており不気味です。苦学生支援の継続は必要と思われ、引き続きの協力を呼びかけさせていただきます。下記、郵便振替口座に義援金をお寄せ下さい。義援金は、主催者が適切な品物にかえて学生にお渡します。どうぞご協力、宜しくお願いします。(事務局)

00840-3-1576 (ゆうちょ銀行)

社会福祉法人 名古屋キリスト教社会館
※ 通信欄に苦学生支援と記載ください。

上山さんよりのお礼のラインメッセージ

いつもより多い種類の物資を用意、全部で28人の学生が来て物資を受け取りました。終盤コーヒーを飲みながら対話もでき、品物への率直な注文ももらいました。(略)

2021年12月25日現在

会 員 数 7 8 2 名

当面の目標である1000名を早期に達成できるよう、お知り合い等への呼びかけを今後も宜しくお願い致します。(事務局)

タテタカココンサートに参加しての感想

以前から大好きなタテタカコさんが、ずっと社会館とつながって下さっていること、心から嬉しく思います。今回も、心のこもった素晴らしい演奏と歌声を聞かせて下さいました。ピアノと歌の、シンプルでありながらも圧倒的な音のシャワーで魂が浄化された、そんなコンサートでした。ホームの仲間たちも、世話人の方たちと一緒にリズムをとったり掛け声をしたり、ニコニコで楽しんでいた姿が印象的でした。ライブ配信も行われ、一人でも多くの方とのつながりを大切にしたい、そんな職員の皆さんの温かい気持ちも感じられました。素晴らしいコンサートを企画して下さい、本当にありがとうございました。

坂野真奈美 (後援会会員)

私は入職年目のときに、初めてタテタカコさんの歌を聞きました。歌声に惹かれ、その後「ミスミソウ」という映画をみたときに、主題歌を歌われていて、更にタテタカコさんを知ることとなりました。

今回、またコンサートに参加させて頂いたわけですが、ひとつ一つの歌に気持ちを込めて歌われる表情がとても素敵でした。ピアノひとつの演奏でも、それぞれの曲の世界観が見事に表現されていて惹きこまれました。また、タテタカコさんの声はとてもやさしく、時に迫力もあり、まっすぐ心に響きます。今回聴いた歌以外の曲も是非聞いてみたいです。素敵な時間をありがとうございました。

斎藤 那美 (南部発達Cそよ風)

今期の予算で、後援会より社会館への献金10万円を計上しています。社会館バザーの資金の一部としてお渡しします。

— 編 集 後 記 —

コロナ感染も収まりを見せた11月、社会館では60周年記念行事「MACHI フェス」が、また、恒例の社会館バザーも形をかえて実施されましたが、かつての賑わう様とはほど遠く、寂しい感じの行事となりました。早く、昔のような生活、活動、行事をとり戻したい。そんな思いが、初夢となって実現。そんな正月を迎えたいものです。(O.T)